

## 生チップ焚き貫流式簡易蒸気ボイラ

### 換算蒸発量 1トン/h 加温用・乾燥用

蒸気による加温、乾燥の用途に、高効率・高機能・全自動運転のトモエの生チップ焚き貫流式簡易蒸気ボイラをお奨めします。

#### ■ 特長

##### 1. 換算蒸発量 1トン/h

##### 2. 木質生チップ焚き

含水率120%(乾量基準)までのチップの直接燃焼が可能です。

##### 3. 点火方式

着火は、乾燥した薪材や紙などを用いてや手動着火にて行います。化石燃料の灯油などを着火や助燃に一切使わないクリーンな点火です。

##### 4. 最適な燃焼状態を保つ制御技術

蒸発圧力、排ガス酸素濃度を測定して、燃料の送り量、燃焼空気量をリニアに制御し最適な燃焼を維持します。

##### 5. 負荷に応じた連続制御方式

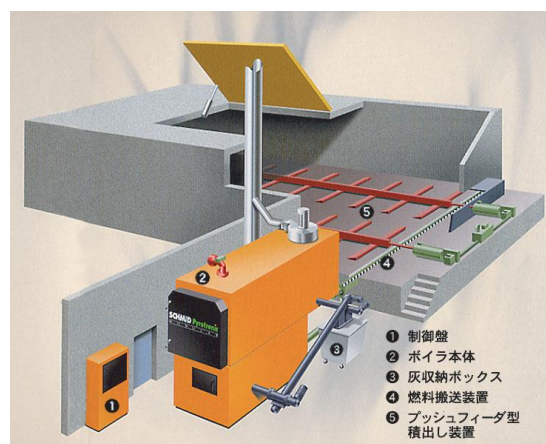
出力は定格出力の100%から30%までの間で連続的に制御され、負荷のない時においても種火維持モードによって運転は維持されます。

##### 6. 24時間全自動無人運転が可能

24時間を通しての全自動無人運転が可能で、日常的な人による管理は①サイロ内のチップの量の監視と投入、②灰の処理、の2点のみです。

##### 7. 貫流式簡易蒸気ボイラ

ボイラは1つの燃焼炉と4つの蒸気発生部からなり、法規的には簡易ボイラとして、ボイラ取扱い資格者や検査の必要はありません。



生チップ焚きボイラとサイロの概念図

##### 8. 木質燃焼ならではの安全装置搭載

停電時などに燃料搬送路に逆火した場合は緊急停止および緊急警報システムが作動し、また温度センサーが感知して燃料搬送路に消火用の水を送る仕組みになって、防火装置が働きます。

燃焼室内は常時負圧に保持されボイラの外に燃焼ガスが溢れるのを防ぎます。

##### 9. 自動灰出し装置

自動灰出し装置により燃焼灰はスクリーコンベアによって灰受けボックスに送られます。ボックスに入った灰は定期的に処理するだけです。

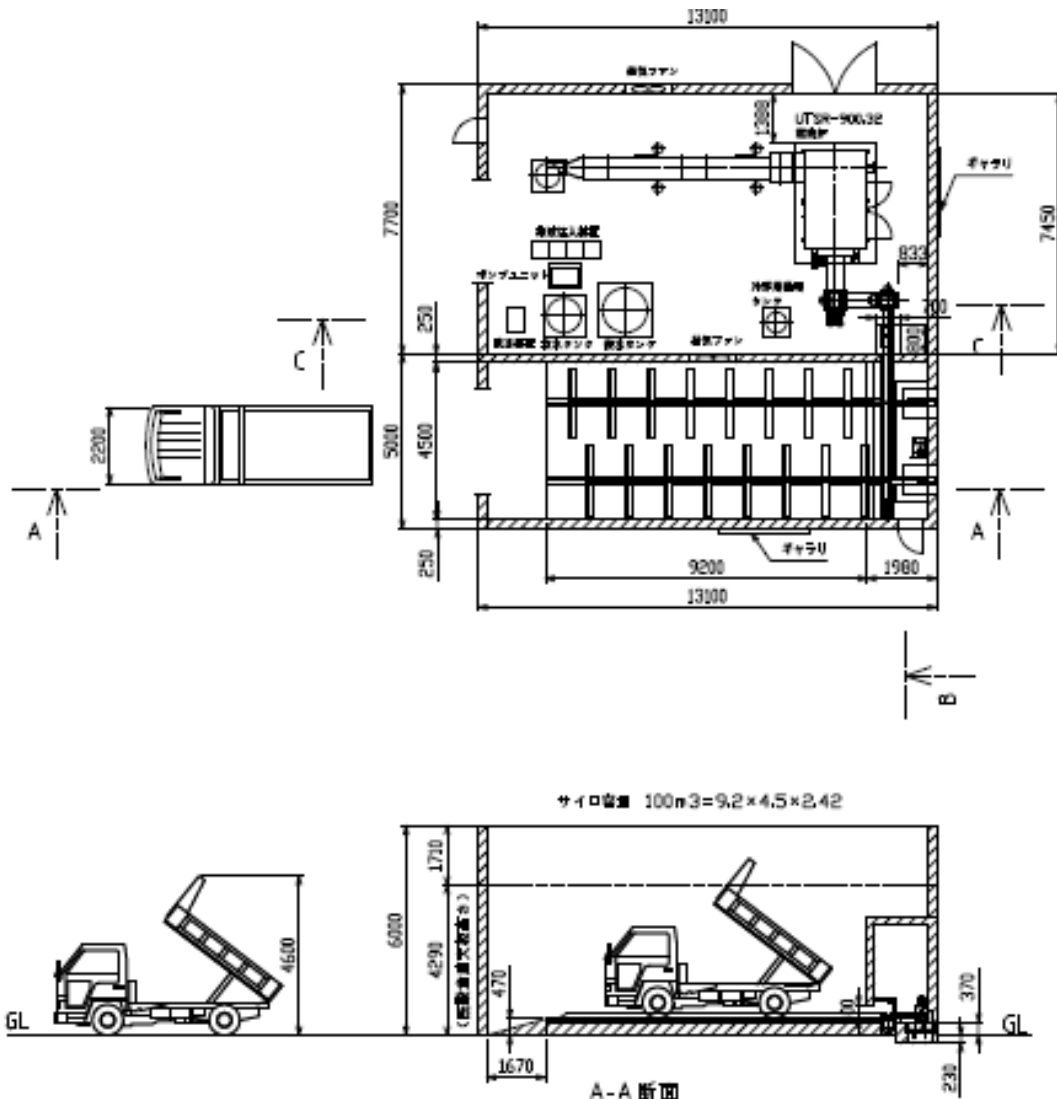
# バボイラ

株式会社 トモエテクノ

■ 多缶式貫流ボイラ仕様表

ボイラ型式	生チップ焚き多缶式貫流ボイラ				
労働安全規則の分類		簡易ボイラ	使用蒸気圧力範囲	MPa	0.40-0.88
換算蒸発量	トン/h	1.0	伝熱面積	m <sup>2</sup>	4.7と4.4
熱出力	kW	624	缶水量	lit	350
定格入力	kW	751	運転質量	kg	4,350
推奨燃料基準値	生チップ 含水率 120%(D.B) 低位発熱量 1.9kWh/kg (483kWh/m <sup>3</sup> )				
チップ消費量	kg/h	405	サイロ容量の目安	m <sup>3</sup>	80
	m <sup>3</sup> /h	1.59	燃焼制御方式		比例制御
電源	3φ200V 50/60Hz 38A				

■ プロジェクト外観図(事例)



株式会社 トモエテクノ

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町27

TEL 03-3254-2514 FAX 03-5256-0655